

警鐘レポート2 注射剤の血管内投与後に発症したアナフィラキシーによる死亡

事例7

< 事例概要 >

- ・ 70歳代、内頸動脈狭窄症の患者。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。
- ・ 原因薬剤は、ヨード造影剤（イオパーク）。CT検査室で発症。
- ・ 過去にヨード造影剤（ヘキサブリックス）を使用し、アレルギー症状の出現有。
- ・ 造影剤注入から2分後（撮影終了直後）、くしゃみと瘙痒感が出現し、診察。初発症状から2分後、血圧低下、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）80 %台となり緊急コール。4分後、アドレナリン1 mgを静脈内注射。血圧測定不能となり、心肺蘇生を開始。救急処置を実施するが、翌日に死亡。